

小野市議会だより

Ono city assembly

11
2006 / No.124

美しいまちへ——小野市



「美しいまちへ」市内各所にポケット公園がつけられ
季節の花と緑が市民の目を楽しませてくれます。
(写真は王子町のポケット公園)

小野市で開催の、国体成年男子バレーボール大会は、市民のみなさまの協働と参画で、笑顔とまごころいっぱいのおもてなし、元気いっぱいのお応援、花と緑いっぱいの美しいガーデニングシティおのを、全国へアピールしていただき、ありがとうございました。これから「美しいまちへ——小野市」・「活性化に取り組む議会」を市民のみなさまと協働でつくってまいります。

第345回

9月定例会

主な内容

- ・一般質問(3～6ページ)
井上日吉・松本英昭・藤本修造・加島 淳
竹内 修・井上 熙・鈴垣 元
- ・議案質疑(7ページ)
川名善三・春名良兼
- ・各常任委員会の審査(8ページ)
- ・常任委員会行政視察報告(9～11ページ)
- ・主な可決議案(12ページ)

第345回9月市議会定例会は、9月8日から9月28日まで、21日間にわたり開催しました。

市から提出された議案は、一般・特別・企業会計補正予算、市長の専決処分条例の改正、国民健康保険条例の改正、福祉医療費助成条例の改正、北条鉄道経営対策事業基金廃止条例の制定など14議案を原案どおり可決しました。

第124号 平成18年11月1日

編集発行/小野市議会 小野市王子町806-1 TEL.0794-63-1006 FAX.0794-63-4108 <http://www.city.ono.hyogo.jp>

九月定例会

一般質問発言者

井上 日吉 議員

- ・安全で安心して暮らせるまちづくりについて
- ・市長選にむけて

松本 英昭 議員

- ・通学路の新設・その後の現状について

- ・信号機の新設について
- ・トライやるウィークについて

藤本 修造 議員

- ・「放課後子どもプラン」(仮称)について

- ・自立を目指した地域づくりについて
- ・粟生駅・樫山駅の駅舎運営等について

加島 淳 議員

- ・まちづくりと景観について
- ・小学生と高齢者の交流について

竹内 修 議員

- ・幼保一元化法(就学前の子どもに関する、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)について
- ・内部障害、内臓疾患患者の安全・安心の確保について
- ・特定外来生物対策の現状について

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

井上 照 議員

- ・小野中学校建築について
- ・公共施設及び公園整備について

鈴垣 元 議員

- ・船木浄水場改修計画と今後の事業経営について
- ・障害者自立支援法の本格実施について
- ・農業施策について

質疑発言者

川名 善三 議員

- ・議案第91号小野市一般会計補正予算(第2号)について
- ・議案第97号市長の専決処分事項に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・議案第92号小野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- ・議案第98号小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

春名 良兼 議員

- ・議案第91号小野市一般会計補正予算(第2号)について
- ・議案第92号小野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

- ・議案第98号小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について



● 身近な議会をめざして ●

■ 議論百戦：議会は、本会議だけでなく、委員会をはじめ、各種会議を通じて、執行機関と政策議論をしています。

● 議会の委員会

議会は、年4回(3、6、9、12)の定例会本会議と臨時議会のほか、それぞれの常任委員会や議会運営委員会、そして予算・決算特別委員会などで、市から提出された数多くの議案の審査をおこなっています。

- 総務文教常任委員会：市が進める事業(全体計画の立案、財政運営、消防など)の調査、審査をおこなう委員会です。
- 民生保健常任委員会：福祉、医療、生活(健康福祉、環境衛生、少子高齢者対策、市民医療、上下水道など)の調査、審査をおこなう委員会です。
- 地域振興常任委員会：住みよいまちづくり(道路整備、河川改修、住宅宅地開発、農業、商工業、観光)などについて調査、審査をおこなう委員会です。
- 議会運営委員会：議会運営(市から議会に提出の議案や議会の会議規則(委員会条例、議長との諮問などの議事)が円滑にすすむよう協議する委員会)です。

*このほかに、開催期限を決めて開催される委員会として、予算特別委員会(市から提出の各年度の予算の内容について審査をします)・決算特別委員会(予算と同様に決算の認定について審査をします)などがあります。

ご意見をお待ちしています。 議会のメールアドレス：gikai@city.ono.hyogo.jp



新生クラブ

井上日吉議員

安全で安心して暮らせる

まちづくりについて

質問 地域包括支援センターの現状は。

答弁 65歳以上の高齢者に対して、要介護の状態になる前から、介護予防教室や、健康講話などを積極的にを行っています。
(市民福祉部長)

質問 市職員の有給休暇の利用状況は。

答弁 現在、ほとんどの職員に40日の年次有給休暇を付与しています。取得率は25・6%で、平均取得日数は10日です。
(総務部長)

質問 安全安心パトロールの現状と成果はどうか。

答弁 2班4人体制を3班6人体制に増強、犯罪発生件数は年間約400件減少しました。
(市民安全部長)

質問 義務教育期間の医療費無料化は。

答弁 小学校3年生まで無料化を実施。義務教育期間無料化については順次検討します。
(市長)

質問 小野まつりの今後の予算の規模について、どのように考えているか。

答弁 「協働と参画」を推進する場でもあるため総合的に判断して適正であると考えられる規模で実施します。
(地域振興部次長)

質問 入札制度改革などで7年間に120億円節減されたが、余剰金員は市民のために、どのように有効に使用されたか。

答弁 下水道事業、道路整備、来住小学校改築、アフタースクールの充実、コミュニティバスの導入などです。
(助役)

質問 東条川における台風23号の対策事業はどうか。

答弁 本年11月から東条川の喜多町樋門から加古川との合流地点までの左岸側に植生している流木の伐採の工事に着手する予定です。
(技監)



新生クラブ

松本英昭議員

通学路の新設

その後の現状について

質問 トクセン工業寮から住吉南までの歩道計画の進捗状況はどうか。

答弁 道路法線を西側へシフトし、東側に歩道を設置することが最も望ましいと考え地権者と交渉していますが、共有地の相続がなされていないために歩道を設置するには相当な時間と費用が必要で、事業実施は当面、困難な状況です。
(技監)

信号機の新設について

質問 船木浄水場南交差点に、信号が必要と考えるがどうか。

答弁 この場所への設置は必要と判断しており、社警察署に強く要望しています。
(市民安全部長)

トライやるウィークについて

質問 この事業は、学校・家庭・企業の三者の連携が不可欠であるが、家庭の果たす役割はどうか。

答弁 活動場所の選定にあたって、生徒は保護者と十分な話し合いを持つように指導、その際毎日の活動記録を保護者が確認して、意見欄の感想やお礼等の記入について話し合うことが家庭の絆を深めると考えます。
(教育長)

質問 今後の方針について。

答弁 この事業が単なる職業体験ではなく、地域社会で子どもたちを育てる、心を育て子どもたちの成長を助けるための大切な手法であることを、教師も保護者も地域の人々も再確認するということが大切です。
(教育長)



市民クラブ

藤本 修造 議員

文部科学省と厚生労働省の放課後対策事業の連携構想、仮称「放課後子どもプラン」の創設について

質問 一、各市町村において、教育委員会が主導して福祉部局との連携の下で、一体的に連携する。二、教育委員会が主導することにより、学校がより積極的に関わられる。三、同プランは、福祉部局職員、教職を担う大学生、退職教員、地域のボランティア等を活用する、このことについてどう考えますか。

答弁 「安全安心対策とはいえ、長時間学校にすることが適切か」「小野という地域に相応しい施策か」「家庭教育力が脆弱にならないか」など、事業が明確になった時点で多角的に検討します。(教育長)

自立をめざした地域づくりに伴うJA来住支所跡地購入について

質問 「地域包括支援センター」の立ち上げに伴い、地域密着小規模多機能型居宅介護施設、お年寄りそして子どもたちを地域で見守る拠点にと考える。小野市が買い上げ、地域が運営(公設民営)での購入について

答弁 現時点では公設民営の考えはありません。(市民福祉部長)

加古川本流と前谷川との水害防止対策について

質問 自立した地域づくりを進める上で、先ず地域の安全が守られなければならない。国の取り組み姿勢と進捗状況について

答弁 国においては、加古川本流の水位低下を目的とし洪水の流下阻害となる河道内樹木の伐採や体積土砂の除去・河床掘削などの工事が概ね5年間の予定で平成17年度から着工しています。合流部分の支川処理については、今後社土木事務所と協議を進めます。(技監)



新生クラブ

加島 淳 議員

まちづくりと景観について

質問 都市計画税は、本来市街化区域のまちづくりのために使われる目的税ですが、その用途はどうか。

答弁 使途は、公債費のほかシビックゾーン整備事業、神鉄小野駅周辺整備事業、各種公園の整備などの都市基盤整備事業の財源として活用しています。(総務部長)

質問 匠台工業団地では景観対策で電線・電柱を埋設した共同溝を整備しているが、中心市街地での計画はどうか。

答弁 市役所周辺道路整備事業の100m区間で電柱の埋設を予定しています。今後、無電柱化など都市景観に配慮したまちづくりの研究を進めていきます。(助役)

質問 「美しい景観」に尽力された方に対して表彰制度を設けてはどうか。

答弁 表彰制度のみならず、一歩進んで補助金制度も検討したい。(助役)

小学生と高齢者の交流について

質問 少子高齢化が言われて久しく、「世代間を超えた交流促進地域システム」が必要とされている。そこで、子どもと高齢者が交流版「おの検定」に取り組み、それを地域のサポーターが支える仕組みにすれば、子どもは「生きる知恵、遊びの工夫、まちの歴史」を高齢者から学び、高齢者は脳の活性化はもとより、子どもを見守りながら地域の安全安心に寄与できると思われるがどうか。

答弁 今日の子どもたちは、さまざまな世代の人間と交流する機会が減少し、危惧しています。小学校の「総合的な学習」の時間で高齢者との交流を推進しており、ある程度の成果が上がっています。今後国が進めている「放課後子どもプラン」が明確になった時点で、総合的に考えていく必要があると思います。(教育長)



公明党

竹内 修 議員

幼保一元化法について

質問 保育園と幼稚園両方の機能を併せ持つ総合施設「認定こども園」を整備するための幼保一元化法が今年5月に成立したが、小野市としてどのような施設を目指す考えか。

答弁 現在、小野市には2つの幼稚園と14の保育所があります。待機児童数はほとんどないために、認定こども園の必要性はないものと思いますが、新しい形での連携を模索しているところですが、親子にとって有意義な施設にするため、これからもさらに検討をしていきます。(教育長)

内部障害、内臓疾患患者の安全・安心の確保について

質問 身体障害者マークは普及が進み、知名度が高いが、それに比べ、健常者との見分けのつかない内部障

害、内臓疾患患者のための「ハートプラスマーク」の普及が遅れている。普及に対する小野市の取組みはどうか。

答弁 法的拘束力はないものの、ハートフルシティおのとして「ハートプラスマーク」の普及啓発に努めてまいります。(市民福祉部長)

特定外来生物対策の現状について

質問 小野市近郊で、アライグマによる被害が多発しているが、小野市の対策についてはどうか。

答弁 現時点では、市として現状把握に努め、被害報告の多い地域を中心にアライグマの捕獲活動を実施しているところです。また、国・小野市にアライグマ防除実施計画を提出し、市民からの依頼を受けての捕獲・運搬活動を速やかに行えるよう取り組んでまいります。(地域振興部次長)



民主クラブ

井上 照 議員

小野中学校建築について

質問 その後の計画は進んでいるか。

答弁 小野中学校の改修事業は、平成17年度から2ヶ年で取組む予定でしたが、用地買収が不調になったことなどにより、事業を中止いたしました。

当初、現地改修を行うこととして計画案が出された経緯があります。「運動場を広くする」「現在の正門の敷地は、前の道路に斜めに接しているため危険である」との意見を受けて、正門を南面に移動させ、校舎を一棟とし体育館もあわせて改修し、駐車場及び自転車置場も全て南側に設計と成りまして。現在、移転するのか、現地改修するのか検討を重ねているところですが、いずれにしても白紙の状況であり、さま

ざまな角度から検討をしているところです。(教育次長)

公共施設及び公園整備について

質問 市内の公園には、ジョギングコースやウォーキングコースが用意され、また、アルゴ、アクト、図書館などの公共施設も多数あるが、周辺にもベンチがあれば市民の憩いの場となるがどうか。

答弁 市内のジョギングコース沿いでは休憩施設内にベンチを設置しています。

公共施設アルゴについては施設内の土足可能エリアにベンチが設置してあることから、周辺には置いておりませんが、アクトや図書館、その他の施設についても調査の上、設置が必要であれば、新年度予算で措置をいたします。(地域振興部次長)

障害者自立支援法の

本格実施について

利用者負担の軽減について

質問 障害者自立支援法は、すでに4月から実施され、1割の応益負担導入による施設からの退所や、報酬減による施設運営の悪化など深刻な問題が出ている。10月からは本格実施となるが、3月定例会で私が「負担軽減措置」を求めたのに対し部長は、「実態を把握し十分な検証が必要」と答弁された。実態調査の結果はどうであったか。

答弁 制度導入後5ヶ月余りであったこと、10月から全施行に向けた事務の多さなどから実施していません。利用者負担に関しては、障害者や家族が年金収入のみの低所得世帯などで検討すべき事項があると認識しており、今後、法の全体設計を整理する中で検討します。(市民福祉部長)

質問 社会の最も弱い立場の人たちの負担を大幅に増やす、日本の福祉はどちらを向いているのかと思う。悪政の防波堤となってこれらの人たちを守るのが自治体の役割だと思いが。

日本共産党

鈴木 垣 元 議員

答弁 自立支援法の関係では、包括してサービスはどうあるべきか考えます。低所得者の負担軽減は当然のこと。他市に負けない対策をとっていきます。(市長)

ひまわり園通所者の実態及び園運営上の影響について

質問 通所施設の利用料はこれまで9割以上が無料。法施行後、食事を含め1〜3万円の負担増となり、施設利用を断念する障害者が相次いでいるといわれる。また、報酬単価引き下げや、支払い方式が「日払い」に変わったための減収で施設運営に影響が出ているようだが、市立ひまわり園はどうか。

答弁 利用者1割負担になったことによる利用中止や利用回数制限は現在のところありません。園運営への影響では、「月払い」から「日払い」方式に転換されたことにより、前年比83・6%と大きな減収傾向となっています。(市民福祉部長)

ようこそ小野市へ

全国各地から、小野市へ
今年も、多くの市町村から視察研修に

小野市の政策を視察したい、という希望が多く寄せられ、今年も全国各地から視察研修を受け入れました。小野市議会からも、各地へ先進地の市町村へ行政視察研修に出かけています。

同じように他市町議会からも、小野市へ行政視察研修に来られます。(左表は今年、小野市に来られた市町村です。予定を含む)



	月 日	市 町 名	調 査 事 項
1	4月14日(金)	兵庫県猪名川町	議会のIT化について
2	5月11日(木)	山形県東根市	水道総合管理システムについて
3	5月17日(水)	岡山県赤磐市	小野市の行財政改革の取り組みについて
4	5月22日(月)	埼玉県八潮市	人事管理制度(ONPM計画)について
5	5月25日(木)	滋賀県東近江市	白雲谷温泉「ゆびか」の運営について
6	6月28日(水)	兵庫県西脇市	特別指定区域制度について
7	7月5日(水)	宮崎県小林市	議会活性化、IT化の推進について
8	7月31日(月)	鳥取県北栄町	行政経営について
9	8月8日(火)	岡山県倉敷市	行政経営について
10	8月18日(金)	愛知県東浦町	行財政改革について
11	10月13日(金)	千葉県印西市	行政改革について
12	10月19日(木)	茨城県常総市	方針管理制度について
13	10月20日(金)	神奈川県茅ヶ崎市	行財政改革について
14	10月20日(金)	神奈川県寒川町	行財政改革について
15	10月26日(木)	山口県山陽小野田市	上下水道の一元化について
16	10月27日(金)	富山県滑川市	行財政改革・入札制度の改善について
17	10月27日(金)	千葉県八街市	行財政改革・入札制度の改善について
18	11月1日(水)	静岡県牧之原市	行財政改革について
19	11月7日(火)	宮城県柴田町	行財政改革の取り組みについて
20	11月17日(金)	和歌山県田辺市	議会ライブ中継について
21	11月20日(月)	長野県木曾町	行財政改革について



議案質疑

公明党

川名善三 議員

平成18年度一般会計補正予算

質疑 歳出インターネット管理経費165万6千円の具体的内容について

答弁 いつでも誰でも予約ができるようホームページでスポーツ施設予約システムを稼働させていますが、2台のサーバーのうちエラーが発生、直ちに修理しました。その後同様のエラーは発生していないものの、万一使用不能に陥ると数日間はサービスが停止することになります。そのためサーバー1台を交換しようとする経費です。その他に、小野市の地図情報をホームページに提供したいと考えています。
(総務部長)

市長の専決処分事項に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 市が扱う私法上の金銭債権はどのようなものか。

答弁 市営住宅使用料、住宅資金貸付金、し尿尿取手数料、幼稚園授業料、水道使用料、市民病院の診療費用等です。
(総務部長)

質疑 条例改正により見込まれる効果とは。

答弁 市が行う民事訴訟法の規定による支払督促に対し、相手方から異議の申立てがあった場合に、訴訟要件である「議会の議決を欠く行為」として不適法なものとなり、却下される懸念されます。

そこで地方自治法第180条に基づき、「議会の権限に属する軽易な事項で、長が専決できるもの」として条例に明文化することにより、市長が専決でき、①事案ごとに臨時市議会を開催しなくてよい、②訴訟が却下される事態が回避できる、そして、これらにより支払督促手続が迅速かつ適法に活用できるという効果があります。
(総務部長)



議案質疑

日本共産党

春名良兼 議員

平成18年度一般会計補正予算

質疑 住宅再建共済制度加入促進委託料312万5千円の補正について

答弁 兵庫県が全国に先駆け創設した住宅再建共済制度であり、自然災害による被害住宅の再建支援は、「自助」「公助」「共助」が適切に組み合った仕組が必要です。「公助」には、被災者生活再建支援法がありませんが、対象が全壊・大規模半壊世帯に限られています。そこで「共助」として住宅の所有者同士が共に助け合い年5千円を負担、半壊以上の被害住宅の再建・補修を支援しあうものであり、このたび多数の市民に加入していただくよう共済負担金の半額を加入促進委託料として各自治会に支払うものです。
(市民安全部次長)

質疑 住宅管理費及び住宅資金貸付償還費それぞれの弁護士相談委託料150万円・同委託料100万円の具体的内容について

答弁 住宅管理費150万円は、市営住宅家賃滞納者のうち悪質な2名に対して住宅の明け渡し並びに滞納家賃及び損害賠償金の支払いを求める訴訟にかかる費用と、未収金として75件の家賃滞納者に支払督促をする弁護士委託料です。

住宅資金貸付償還費100万円は、償還件数140件のうち、未収金として40件、滞納者に対する支払督促をする弁護士委託料です。

従来は未収金の徴収に職員が努力していましたが、今後は法的措置を講ずるべく、弁護士の力添えを得て、訴訟してでも回収する姿勢で取り組みます。また、市としても積極的に徴収業務を推進するため、「徴収専門員」を採用し、収納率の向上に向け努力します。
(地域振興部次長)

◎常任委員会審査報告◎

6月定例会で各委員会に付託された案件について26日、総務文教、民生保健、地域振興の各常任委員会を開催し、議案第91号から第104号まで合計14議案について、市当局から詳しく説明を受け、そのあと慎重に審査をいたしました。議案14件のうち民生保健常任委員会に付託の議案第98号、99号については反対討論がありました。他の12件については反対討論はなく、本会議においては全会一致で可決することが望ましい、とした審査結果をまとめました。

ありました。

○総務文教常任委員会（松本英昭委員長）に付託された6件の議案のうち議案第104号小野市北条鉄道経営対策事業基金条例を廃止する条例の制定についてを審査する際「基金条例の廃止など北条鉄道株式会社経営等からの全面撤退にあたっては、市民に正確な情報が伝わるよう、行政の説明責任を果たされたい」との意見がありました。

○民生保健常任委員会（竹内修委員長）に付託された8件の議案のうち議案第91号高齢者交通安全教室開催事業を審査する際「高齢者交通安全教室開催事業は、警察、教習所、行政の三者が一体となって地域のリーダーを育成するための事業であるが、各地域の高齢者一人ひとりの安全意識が、さらに向上するよう実施に向け努力されたい」との意見が

17年度各会計を審査する 決算特別委員会を設置



議案第86号から同第90号まで平成17年度各会計（小野市歳入歳出決算、都市開発事業会計、病院事業会計、水道事業会計、下水道事業会計）決算の認定についての審査を付託する決算特別委員会（全議員）を設置し、審査に付託された議案の継続審査（10月11、12、18日の3日間）をすることが決まりました。

また、議案第98号小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第99号小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についての2議案は、反対討論があり、採決の結果、賛成多数により可決すべきと決定しました。

○地域振興常任委員会（春名良兼委員長）に付託された2件の議案のうち、

議案第91号集落営農活動支援事業を審査する際「水田営農元気アップ事業の対象となっている敷地町営農組合は、面的にもまだ小規模であるために、将来にかけて面積の拡大を図るとともに、より高付加価値農業をめざし品目横断的経営安定対策事業へと移行できるよう指導されたい」との意見がありました。

平成17年度の決算総額は歳入358億円、歳出361億7千万円、赤字は8千万円、また市債残高は168億円、基金残高は81億円となっています。

市民ひとりあたりの資産は、約137万円、負債は、約81万円です。市民ひとりあたりの行政サービスに要した経費は29万6千円となりました。また、7年間で、入札改革、人件費削減などで120億円の経費を削減しています。

●17年度の主な事業

- ・乳幼児医療費無料化を小学校就学前まで拡大
- ・全保育所で延長保育を実施、全小学校でアフタースクールを実施
- ・重度障害者・母子家庭の個人負担

常任委員会行政視察研修報告

- 金を無料化
- 敬老祝金を5千円に増額
- 防災資材備蓄倉庫を建設
- 公共施設にAEDを配置
- 安全安心パトロール車を3台に増車
- コミュニティセンター下東条、市民会館の大規模改修工事を実施
- 地域コミュニティ活動の支援の拡大
- うるおい交流館エククラがNPO法人により本格活動
- 道路沿線にポケットパークを整備
- 全国ハープサミットの開催
- ガーデニングアドバイザー・ボランティアの活用
- JR加古川線沿線4駅の周辺整備を実施
- 八ヶ池周辺整備事業の実施

・道路舗装率	93.7%
・下水道普及率	98.1%

決算特別委員会は、委員長に春名良兼議員を、副委員長に竹内 修議員を選任し、10月11、12、18日に開催いたしました。発行締切日の都合上、決算特別委員会で指摘のあった意見については次号の小野市議会だよりに掲載いたします。

総務文教(松本英昭委員長)・民生保健(竹内 修委員長)・地域振興(春名良兼委員長)の各常任委員会は、財政運営、健康福祉、まちづくりなどの地方自治体の運営や事業について視察研修を行いました。研修に参加した議員全員が、報告書を議長宛に提出します。委員長は、各議員の報告書をもとに委員長報告書を作成して9月定例市議会に配布します。以下の報告書は、市議会に配布した委員長報告書の概要です。(議会ホームページに報告書の全文を掲載しています。)

総務文教常任委員会視察研修報告

- 期 日 7月19日～21日
- 視察先 秋田県大館市
- 岩手県滝沢村

視察内容

◎大館市の行財政改革について
大館市は秋田県北部の政治経済文化の中心都市で、鉱石と秋田杉の産

地として名が馳せ、大館能代空港、日本海沿岸東北自動車道が整備されています。

○行財政改革は、新第3次行財政改革大綱により3年後の指標を定め、職員数を14%、114人を削減、経常経費を8%削減、市営の64施設を民間に委託することを決めています。

また、「債権管理委員会」を設置して未収金の徴収に努めています。

『視察の感想』

・職員削減の方策も決定ではなく、実効性に乏しい。また、職員削減できめ細やかな住民サービスが可能なのか、そのあたりの対応が必要と思われる。

◎滝沢村の行政経営について

滝沢村は5万人、人口日本一の村です。盛岡市から8キロ、都市近郊農業地帯がとりまいています。豊かな村づくりで全国表彰天皇杯を受賞、情報化の推進では自治大臣表彰を受け、ISO14001、9001の全国初の同時取得をするなど進んだ行政経営に努めています。

(次ページへ)

☆ 議会開催中 お子さまをお預かりします ☆

12月13日(水)、14日(木)

12月定例議会で「託児コーナー」を開設するのは、議員から市長へ質疑と一般質問がおこなわれる12月13日(水)、14日(木)のそれぞれ10時から正午までの2時間以内といたします。

1歳から就学前までのお子さまをお持ちの保護者の方が対象です。ご希望の方は、12月6日までに、議会事務局(電話番号63-1006)へ電話でお申し込みください。

今回も、託児のお世話をしていただくのは、託児ボランティアグループ・小野託児サークル「このゆびと～まれ♪」のメンバーのみなさまです。(当日、託児の受付はできません。あらかじめお申し込みくださいますようお願いいたします。)



12月定例会 託児コーナー開設

● 視察先の財政指数

(平成16年度決算資料)

視 察 先	財政力指数	経常収支比率	公債費比率
秋田県大館市	0.493	92.9%	17.1%
岩手県滝沢村	0.569	84.4%	14.7%
青森県八戸市	0.610	89.5%	14.9%
青森県青森市	0.630	91.7%	21.2%
青森県十和田市	0.421	92.1%	15.9%
青森県三沢市	0.460	86.2%	13.1%
小 野 市	0.672	87.9%	16.2%

- ▲財政力指数：自治体の財政力の強弱を示す指標、数値が1.0を超えるほど財源に余裕がある。
(県内で良い方の上位3位は、芦屋市0.972、宝塚市0.916、高砂市0.911)
- ▲経常収支比率：財政構造の弾力性を表す指標、率が高いほど財政状態は悪い。
(県内良い方の上位3位は、養父市77.6%、姫路市79.6%、赤穂市81.1%)
- ▲公債費比率：償還金(借金)の比率、比率が高まると将来の財政の硬直化の要因になる。
(県内良い方の上位3位は、姫路市13.4%、加古川市14.0%、西脇市14.2%)

(前ページから)

○「住民は、お客様である」という考え方を取り入れ、行政は、住民のためのコーディネートやコンサルタント、アドバイザーとしての役割を果たします。そして職員は、村長の方針を受け、部課長がそれぞれの方針をたて、方針をもとに担当者は目標をかかげて実行するという「方針の展開体系」を取り入れています。

『視察の感想』
・緻密な行政経営を構築していることに敬服しました。小野市も同様の改革をすすめており、自治体の先端を歩んでいると感じ、また、住民の役割意識がきわめて高く、住民が自立しているのがよくわかりました。



滝沢村役場

■民生保健常任委員会視察研修報告
・期 日 7月20日～21日
・視察先 青森県八戸市
・視察内容

◎八戸市の地域総括支援センターについて

八戸市は、イカの水揚げ量日本一の水産都市として有名です。さらにコンテナ貨物を取り扱う国際物流の拠点港の整備がはかられています。

◎地域包括支援グループと高齢福祉グループに機能を分け、市内に10カ所の在宅支援センターを設置して24時間体制をとっています。

『視察の感想』
・高齢者への「見守り意識」が高く、地域のあたたかいまなざしを感じられて好ましく思いました。助け合いの姿勢は学ぶべきところです。



◎八戸市の次世代育成行動計画について

○市民の声を聞きながら、子どもを安心して生める環境づくりをすす



八戸市役所

めています。取り組みは全国で始まったばかりであり、見直しを重ねて定期的に状況を公表しようという計画しています。

『視察の感想』

・210の重点推進項目をきっかけ、年度ごとに実施状況を公表することは市民、地域、事業者の連携が図れるため効果的であり、自治体のモデルとなる結果を期待します。
 ・小学3年生まで医療費無料化やアフタースクール、ファミリーサポートセンターの事業については小野市のほうが進んでいます。

■地域振興常任委員会視察研修報告

・期 日 7月26日～28日

・視察先 青森県青森市

青森県十和田市

青森県三沢市

・視察内容

◎青森市にぎわいあふれる福祉対応型商店街に向けた取り組みについて
 青森市は、県庁所在地として唯一、特別豪雪地帯であり、豊かな自然と北海道を結ぶ交通の中心地として発展しています。

○青森市新町商店街は、「福祉対応型商店街」として中小企業庁の「がんばる商店街77」に選ばれました。高齢者や障害を持った人に電動スクーターを用意、またボランティアが同伴して買い物ができるほか、商店街マップには車椅子専用・ベンチ・手すり付きトイレ、駐車場、公衆電話などを配して見やすくしています。商店街の一角に再開発ビルを建設して、JR青森駅の乗降客を新町商店街へ流れる工夫もしています。



『視察の感想』

・活性化に努力した結果、商店街の通行客が平日で33%、休日で50%増加したことは、官民が協力すれば活気が戻ることを証明しています。

◎十和田市にぎわい特区について
 十和田市郊外では十和田湖の自然、農産物や畜産が盛んであり、市街地では碁盤の目に区画されたまち並みを誇っており、官庁街通りは日本の道100選にも選ばれています。

○中心市街地の交通規制を見直し、月ごとにイベントを開催することにより活性化させるにぎわい特区をすすめています。
 『視察の感想』
 ・集客のために道路を使った新しい発想方法だが、ストリート・フェスタを楽しむ学生の遊びの場を提供するにとどまっておらず、毎月にかかれるイベント先行型による疲れが残っているように見え、また、行政側の協力あまり図られていないようにも感じられました。
 ◎三沢市商店街を中心としたまちづくりについて



十和田市役所

三沢市は太平洋岸に面した青森県南東部に位置し、米軍三沢基地のまちとして発展しています。
 ○空き地、空き店舗をまとめ、基地のまちの特性を活かした文化交流をテーマにした「アメリカ村」を整備して中心市街地の活性化を図っています。
 『視察の感想』
 ・基地との共存をもとに進められている「アメリカ村」の整備を今後さらに魅力をアップするにはどうか、今回除外の地区への対応、集客力アップなど課題は多いが商店街がより活性化しようこの事業を見守りたいと思います。

●今期市議会で可決された主な議案●

市長提出議案

- ・平成18年度小野市一般会計補正予算（第2号）
 - 生活道路・公園整備事業 5,300万円
 - 住宅再建共済制度加入促進委託料 312.5万円
 - 高齢者交通安全教室の開催 50万円
 - ため池等農地災害危機管理対策事業 1,000万円
 - むらづくり交付金事業 2,000万円
- ・平成18年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・平成18年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・平成18年度小野市都市開発事業会計補正予算（第1号）
- ・平成18年度小野市水道事業会計補正予算（第1号）
- ・平成18年度小野市下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・市長の専決処分事項に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市立ひまわり園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市北条鉄道経営対策事業基金条例を廃止する条例の制定について

意見書

- ・リハビリテーションの診療報酬制度に関して調査と改善を求める意見書（可決）
- ・療養病床削減計画を中止し安心できる医療・介護・福祉の基盤整備を求める意見書（可決）

12月定例会日程

12月定例会の日程が決まりました。

◎日 程

- 12月1日(金) 本会議第1日
- 12月13日(水) 本会議第2日
- 12月14日(木) 本会議第3日
- 12月20日(水) 本会議第4日

本会議の第2日、第3日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して、市長、部長が答弁いたします。

◎議会の動き◎

【7月】

- 5日 宮崎県小林市議会視察受け入れ
播磨内陸広域行政審議会
- 9日 北播磨地区消防操法大会（三木市）
- 11日 民生保健常任委員協議会
- 12日 東播磨路市議会議長会（洲本市）
- 14日 全国市議会議長会基地協議会理事会、市議会議員共済会理事会（東京都）
- 18日 議員協議会
- 19日～21日
総務文教・民生保健常任委員会行政視察

- 25日 小野市交通安全対策委員会総会
- 27日 県市議会議長会総会（洲本市）
- 31日 鳥取県北栄町議会視察受け入れ

【8月】

- 3日 議員協議会、小学っ子議会
- 8日 岡山県倉敷市議会視察受け入れ
- 18日 愛知県東浦町議会視察受け入れ
- 25日 民生保健常任委員協議会
- 29日 小野市国民保護協議会

【9月】

- 1日 議会運営委員会、議員研修会
- 4日 北播磨肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会
- 5日 小野加東広域事務組合議会
- 8日 本会議(第1日)、議員協議会
- 21日 本会議(第2日)、議会運営委員会
- 22日 本会議(第3日)
- 26日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
- 28日 本会議(第4日)、決算特別委員会

【10月】

- 5日 播磨内陸医務事業組合議会
- 11日 決算特別委員会
- 12日 決算特別委員会
- 13日 市議会報編集委員会
千葉県印西市議会視察受け入れ
小野加東環境施設事務組合議会
- 18日 決算特別委員会

■12月定例会も託児コーナーを開設します。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。TEL.0794-63-1006